

花と緑の銀行だより

205号 2017.9



富山県花のまちづくりコンクール審査風景
(射水市 浅井きらりガーデン)

目次

- 花と緑の提言 小矢部市の緑花活動について（小矢部支店） 2
- 活動事例 朝日町の緑化推進活動について（朝日支店） 3
- 報告コーナー 第44回富山県花のまちづくりコンクール 4
- 技術講座 富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン 28カクトラノオ（職藝学院 渡邊美保子） ... 6
- この人あり 黒河フラワーガーデンがリニューアルされました（射水支店黒河地方銀行 佐野武彦） ... 7
- 報告・お知らせコーナー 9月～12月の主な行事など 7



小矢部市の緑花活動について

花と緑の銀行 小矢部支店長
小矢部市長 **桜井 森夫**

残暑もようやく和らぎましたが、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また日頃より、小矢部市の花と緑の推進に多大なるご支援とご協力をいただいておりますことに、心より感謝を申し上げます。

小矢部支店では、皆様方のご支援を頂きながら、現在、市内全地区に地方銀行頭取14名、グリーンキーパー250名の方が指導者としてご活躍いただいております。その数も年々増加し、緑化活動の輪がますます広がり、それぞれの地域の特性を生かした自主的な緑花活動が行われています。

当初の活動は、配布された花苗を公共施設の花壇へ植えるだけのものでしたが、今では各地方銀行で花苗を育成し地元の施設や花壇に配布する活動も行われるようになり、市内いたるところで花を見られるようになりました。

小矢部市では、平成27年に三井アウトレットパーク北陸小矢部が開業し、市内観光名所にも多くの観光客が来られるようになりました。その中でも宮島峡では、歩いて観光される方が多いことから、道沿いに花壇を設置し、多くの観光客が楽しめるように整備されています。また、宮島地方銀行では、宮島峡の自然豊かな景観を損なわないように、自然と花壇の共存を考え、色彩などにこだわった花壇作りをし、観光に来た人たちの楽しい思い出に残る空間を提供しようと花壇整備をいただいています。



写真1 宮島地域一帯での花で彩る地域づくり

今では約10箇所の花壇を整備し、宮島地区一帯を花で彩る地域作りを進めています。

他の地方銀行でも、毎年アイデアを出し合いデザイン性に富んだ花壇が造られており、平成28年度には全国コンクールで奨励賞をいただくなど、優秀な成績を収めるまでになりました。この花と緑の豊かさが笑顔に繋がるのだと思います。



写真2 バラの産地 小矢部市

～花束など多彩な特産品づくりが進められています

小矢部市は、富山県一の出荷量を誇るバラの産地。色とりどりのバラは、「見て来て体験メルヘンおやべ」という市のキャッチフレーズにもある、“メルヘン”を表現するにふさわしい特産品でもあります。現在、花束やドライフラワーのほか、道の駅メルヘンおやべでも好評の足湯用バラ、バラ染めのハンカチなど新たな商品開発が積極的に行われています。

今後とも、多くの花の活動を通して、美しく豊かな自然に恵まれた小矢部市が、さらに花と緑に囲まれ、潤いと安らぎに満ちた地域となるよう、花と緑の銀行の活動推進に積極的に取り組んでまいりたいと存じます。皆様方の一層のご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

朝日町の緑化推進活動について

花と緑の銀行 朝日支店

朝日町は富山県の東端部に位置し、東は新潟県糸魚川市と、西は入善町と、南は黒部市及び長野県白馬村と接しています。

町の東南部には白馬岳(2,932m) 朝日岳(2,418m)などを主峰とする北アルプス連峰がそびえ、小川・笹川・境川などの各河川はこれらの山々に源を發し日本海にそそいでいます。このように海・山・川に恵まれた朝日町は、海拔0mから3,000mまで、227.41km²の面積を有しその60%が「中部山岳国立公園」と「あさひ県立自然公園」に指定されている風光明媚な町です。

朝日町には「日本の渚百選」「快水浴場百選」に選定されているヒスイ海岸があります。この海岸は町の最東に位置する、幅100m・東西約4kmの砂利浜です。ヒスイの原石が打ち上げられることから、ヒスイ海岸と呼ばれています。日本の海岸でヒスイの原石が拾えるのはごく限られた地域で、世界的にも珍しいと言われています。

また、町内を流れる舟川の両岸には桜並木があり、地元舟川新地区の農家さんが桜に合わせて極早生のチューリップと菜の花を栽培しており、雪を抱く白馬・朝日岳の北アルプスを背景に、桜並木とチューリップ、菜の花の「春の四重奏」を楽しめます。清流に映える大木の桜トンネルも見事で約1.2km・280本の桜が地元の方々により熱心に手入れされています。かがり火がたかれる夜桜もとても幻想的です。

その他、城山・宮崎城跡からの眺望や護国寺のしゃくなげ、ハーバルバレーおがわのハーブ、国指定史跡の不動堂遺跡、更には、たら汁、バタバタ茶など地元ならではの「味」を愉しめる名所もあり、年々朝日町への観光客が増加しています。

朝日町を訪れてくださる観光客への「おもてなし」のみならず、地元住民、通勤通学のみなさんの心にうるおいとやすらぎ・癒しを提供するため、町内のいたるところで「花と緑」の演出に一役買っているのが花と緑の銀行頭取・グリーンキーパーのみなさんです。

現在、花と緑の銀行朝日支店は、10の地方銀行で構成されており、10名の頭取、42名のグリーンキーパーが在籍しています。

年間の主な活動としては、ビニールポットの土詰め、プラグ苗の植え替えに始まり、育った苗をそれぞれの地域花壇に植栽。その後は水やり、施肥、除草等の維持管理をしています。秋にはビオラやパンジー、チューリップの球根を植栽しています。花苗や球根は学校や保育所、町立病院や老人福祉施設にも配布し町内全域の緑化を推進しています。

また、活動の参考となる県内のコンクール入賞花壇等の視察研修や本店開催の研修会への積極的な参加など、自己研さんにも努めています。

毎年開催されているコンテナガーデンコンテストには、地方銀行を3グループに分け交替で出展しています。担当するグループは作品のテーマ、花や木の組み合わせ、彩り、デザイン等、検討を重ね、試行錯誤しながら作品を作り上げる中で、チームワークが育まれ、その後の町内の緑化活動に生かされています。

これからも、うるおいとやすらぎに満ちた生活環境づくりのため、町民のみなさんの協力を得ながら頭取・グリーンキーパーと町が一体となり緑化活動を進めてまいります。



写真1 沼の保公園花壇



写真2 あさひ総合病院前花壇

第44回富山県花のまちづくりコンクール

第44回富山県花のまちづくりコンクール（4部門：学校、幼稚園・保育所、一般、花の道）を、7月下旬～8月上旬に実施しました。その結果と総評は次のとおりです。

なお、上位入賞団体については、10月18日（水）に開催される第45回花と緑の大会（富山県民会館）で表彰されます。

1 学校花壇部門



最優秀賞 富山市立大久保小学校

植え付け初期の低温と7月の多雨のため、生育状況は全体的にはよくありませんでした。その中で、審査にあたった生育状況のよい学校では、手入れのよさが目立ちました。また、粉殻堆肥や腐葉土などでマルチングするなどの工夫がみられ、よい生育状態が保たれていました。地域から提供された苗やこぼれ種を活かした花壇、カラフルで生育状況のよい花壇、地域性を活かした花壇など、それぞれに見応えがありました。

賞	市町	学 校
最優秀賞	富 山 市	富山市立大久保小学校
優 秀 賞	高 岡 市	高岡市立成美小学校
	射 水 市	射水市立塚原小学校
	黒 部 市	黒部市立石田小学校
	富 山 市	富山市立四方小学校
優 良 賞	黒 部 市	黒部市立若栗小学校
	富 山 市	富山市立船嶺小学校
	砺 波 市	砺波市立庄東小学校
	黒 部 市	黒部市立生地小学校
奨 励 賞	入 善 町	入善町立飯野小学校
	氷 見 市	氷見市立瀬浦小学校
	高 岡 市	高岡市立二塚小学校

学校花壇では、花壇作りが子供の教育活動にどう組み込まれ、どう位置づけられているかが問われます。図工科の学習で作製した石の魚を並べてテーマ「海」に迫った学校もありました。ただ、デザインでは、色調がどこも似かよった感じがしました。学校にある樹木や宿根草等を取り込んだ独自の花壇を構想するなど、学校や地域の特色を活かすデザインがあってもよいと思います。

2 幼稚園・保育所花壇部門



最優秀賞 入善町 入善幼稚園

厳しい暑さの中で生き生きした草花の育ちからは、日ごろの栽培管理がしっかりと行き届いていることが伺えました。デザインの場面では花壇の条件に応じた草花の採用と配置、カラーバランスなどに優れたものが目立ちました。

子ども達とのかかわりの場面では毎日の登園が楽しくなるような工夫が随所になされている花壇が多くありましたが、このような花壇ではいずれも子ども達の興味を

賞	市町	幼稚園・保育所
最優秀賞	入 善 町	入 善 幼 稚 園
優 秀 賞	射 水 市	小 杉 西 部 保 育 園
	富 山 市	老 田 保 育 所
	富 山 市	西 田 地 方 保 育 所
優 良 賞	氷 見 市	速 川 保 育 園
	高 岡 市	成 美 保 育 園
	富 山 市	宮 川 保 育 所
奨 励 賞	富 山 市	堀 川 保 育 所
	氷 見 市	南 大 町 こ ど も 園

惹くような、わくわく感のあるテーマのもとに花壇づくりが行われているという共通点がありました。いずれにしても子ども達の豊かな情操を育てるのに大きな役割を果たしていることが伺える花壇が多かったといえます。

なお、審査総数は9点と推薦枠の半数程度にとどまり、地域も県中央部から呉西地区に偏っていたことが残念でした。今後は県東部からのたくさんの応募を期待したいと思います。

3 一般花壇部門



最優秀賞 射水市 黒河地域振興会

今夏は厳しい暑さが続いたことから高温多湿による生育不良の一年草が一部に見られました。また大雨や猛暑など荒い気象条件から花苗がダメージを受け、補植や植え替えを余儀なくされたとのことのお話も聞きました。気付いた点としては次のようなものがあります。

- 花壇管理を当番制で実施している団体では、その日の実施内容や花壇の状態、引継ぎ事項等を記入した日誌（記録簿）を活用されていました。
- 花壇に取り込んだ花木が、剪定時期をまちがえ花が咲いていないもの、花壇とのバランスのとれない大きな樹木も見られました。
- 花壇のヘリの縁石や石垣などを宿根草などで隠すなど足元の見せ方もあればと感じました。

4 花の道部門



最優秀賞 砺波市 五ヶみちグループ

花を育てるのは厄介な天気仕事、今年は7月下旬の大雨で排水対策、防除や草むしりに、大変ご苦労されたと聞きました。また、梅雨明け後は一転、高温続きで植物も人も熱中症対策に追われました。そんな中、今年の作品は、地域の皆さん方等による日頃の努力や工夫の跡が随所に見うけられました。

下伏間江地域環境保全委員会では、長い花壇の一角の排水不良個所に、栽植を諦めてプランターを置いて花が途切れないようにしたり、植え替え作業中の箇所には「工事中」の札を建てて御免を願うアイデアが目を引きました。フラワーロード

賞	市町	団 体
最優秀賞	射 水 市	黒 河 地 域 振 興 会
優 秀 賞	砺 波 市	梅檀山花と緑の推進協議会
	砺 波 市	南般若花と緑の推進協議会
	南 砺 市	玉 成 花 壇 愛 好 会
	入 善 町	花と緑の銀行們山地方銀行
	氷 見 市	一 邇 花 壇 愛 好 会
	小矢部市	北蟹谷花と緑の友の会
優 良 賞	砺 波 市	油田地区花と緑の推進協議会
	南 砺 市	イオックスヴァルト花の会
	高 岡 市	小 勢 緑 化 推 進 委 員 会
	富 山 市	上 堀 駅 を 愛 す る 会
	射 水 市	浅 井 き ら り ガー デ ン
	富 山 市	文 京 町 公 園 愛 護 会
奨 励 賞	氷 見 市	ひ み 四 季 彩 会
	滑 川 市	菊 地 芳 孝
努 力 賞	高 岡 市	蔵 野 町 花 の 愛 好 会
	砺 波 市	東野尻花と緑の推進協議会
努 力 賞	射 水 市	下 村 三 箇 自 治 会 花 壇
	南 砺 市	石 黒 花 ド リ ー ム 会

- ピンチを実施しないで伸ばし放題の所や密植で混みすぎた花壇がみられました。

いずれの花壇も、秋花壇、春花壇として地域の方に楽しんでいただけるよう引き続き力を合わせて作業を続けていただきたいと思います。そして、来年は今年以上の素晴らしい出来栄の花壇を見られることを期待しています。

賞	市町	団 体
最優秀賞	砺 波 市	五 ヶ み ち グ ル ー プ
優 秀 賞	南 砺 市	桐木花と緑の推進協議会
	高 岡 市	下伏間江地域環境保全委員会
	高 岡 市	太 田 福 寿 会
	射 水 市	フラワーロード土田自治会
	南 砺 市	梅ヶ島フラワー街路の会
優 良 賞	小矢部市	野 ぎ く の 会
	氷 見 市	鞍 川 い こ い の 広 場
	富 山 市	大沢野・上大久保地区花いっぱいグループ
	小矢部市	メ ル ヘ ン 花 工 房 会
	砺 波 市	太 田 東 寿 会
奨 励 賞	富 山 市	光陽校区ふるさとづくり推進協議会
努 力 賞	高 岡 市	福 田 六 家 自 治 会

土田自治会では、使わなくなった障子戸にハンギングを施し涼感を誘ったり、鞍川いこいの広場では芸のある流木を器や花壇の縁取りに使って展示の趣を演出していました。

ただし、大雨の影響から部分的とはいえ、ジニア、ダリア等で湿害とみられる生育障害や枯死が見うけられ、畦の形状や排水を考慮したデザインや栽植が必要と思われました。担当者の高齢化など難しい問題もありますが、なんとか活動が継続されるよう、地域の支援、協力等を願ってやみません。

(コメント：審査講評の抜粋です)

富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン

28 カクトラノオ

職藝学院

教授 渡 邊 美保子

カクトラノオは、北アメリカ原産の寿命の長い宿根草です。日当たりと水はけの良い場所を好みます。花期は8月中旬から9月上旬で、草丈は100cmを越えます。花の名前の由来は、茎が角ばっていて花穂が虎の尾っぽに似ていることから。ハナトラノオとも呼ばれています。8月初旬になると、茎のてっぺんから黄緑色の短いしっぽのようなものが現れます。ここには、つぼみがギュッと詰まっています。つぼみたちは二枚の葉っぱに見守られ、くねくねしながら伸びてゆきます。8月中旬には、淡いピンクの筒状の小花がちらほらと咲き始めます（写真1）。この頃になると花穂の長さは10cm位に伸びています。小花は、四つの茎の面に沿って一列に並び、下から順にのろのろと咲き進みます。花穂も同時にどんどん伸びてゆきます。最後の一つが咲き終わるまでに一ヶ月もかけるという、もったいぶった咲き方をします。咲き終わった花穂は30cm位の長さになり曲がりくねるので、まるで尾っぽがうねっているように見えます。



写真1 カクトラノオの花 8月中旬
小花は下から上へ向かって咲き進む

カクトラノオの茎は、緑色の細い角材が地面から垂直に突き出るように伸びてゆきます。茎の断面は真四角で、一本の茎には3～4cmごとに節があります。それぞれの節には、先がとんがったギザギザの切れ込みのある葉が向かい合って付いています。葉の付き方には規則性があり、向かい合う二枚の葉を付ける節の上には、また、二枚の向かい合う葉が付いています。その葉は、下の葉に対して90度の角度で向きを変えて出ていて、この法則は茎の下から上まで続きます。横から見ると葉の方向性にも規則があり、それぞれの葉は、茎を軸にして斜め上方向を向きます。葉っぱ同士が茎から同じ角度で斜めに葉を出そうと相談しているのではないかと思います。

カクトラノオの小花には面白い現象があります。それは、一つ一つの花を右へ曲げると右へ向き、同じ花を今度は左に曲げると左に向きます。ちぎれずに花がいいなりになるのです。イギリスの子供たちは、カクトラノオの小花を右へ向かせたり左へ向かせたりして面白がります。イギリスではオベディエント・プラント（いいなりになる植物という意味）と呼ばれていますから、つい小花の向きを変えてしまいたくなるのでしょう。

カクトラノオは、のんびり小花を咲かせるので主役になる花ではありません。しかし、直立する花茎が集団で広い面積を埋め尽くしたときには、やさしいピンク色の花が夏の青い空と溶け合って涼しげな色合いになります。しかも、茎が丈夫で倒れることもありません。カクトラノオは、一株植えると一冬越すたびにどんどん横に広がってゆきます。そのため、ひと固まりの群れのように咲かせるのがおすすめです（写真2）。



写真2 カクトラノオの群落 9月上旬
植栽後7年経過した様子



黒河フラワーガーデンがリニューアルされました

花と緑の銀行射水支店

黒河地方銀行 頭取 佐野 武彦

平成23年に黒河コミュニティセンター前の広場に花壇を作りました。

旧小学校跡地ということもあり、当時からあった二宮尊徳像と松の木やつつじを利用し、毎年地域振興会を中心に7町内会、老人クラブ、児童クラブほか各団体が総出(120～130人)で花植えを実施しています。

参加者全員から、花壇の名称を募集した結果「黒河フラワーガーデン」と命名されました。以来、市や県の花壇コンクールに出展すると、初年度から連続して賞を頂いており、本年も最優秀賞に輝くことができました。



写真1 総出の花植え活動、新たなロックガーデン

地理的にも町の中心に所在し、コミュニティセンター前広場という事で、連日センターを利用する人たちの心を和ませています。

今年は7年目に入り、花壇に利賀石を配置することで、草花のない時期でも楽しめるようにとロックガーデンにリニューアルされました。

また、当地区には、他に3町内会の花壇があり、それぞれに趣向を凝らした花壇づくりが進められており、市や県のコンクールでも表彰され、住民たちの花に関する意識も変わり、各家庭でも花を植える人が増え、地域全体が花で癒される町となることを願っています。

「富山県花のまちづくりコンクール」入賞実績

最優秀賞 平成26、29年度

優秀賞 平成24、27、28年度

優良賞 平成23、25年度

報告コーナー

「頭取・グリーンキーパー ステップアップ研修」を実施中です

- ・4月中旬から11月下旬にかけ、花壇管理実習を主体とした、花と緑の指導員としての基礎知識・手法を学んでいただく、ステップアップ研修を実施中です。
- ・県内の精鋭27名の頭取・グリーンキーパーの皆さんが、各分野の専門講師の元、花壇管理の実践を主体とした研修に取り組んでいます。
- ・研修(計20回)は①4月～6月：花壇デザイン、植栽作業、植物の基礎講義、②7月～現在：花壇のメンテナンス作業を中心に行っています。

「現任の頭取・グリーンキーパー研修」を実施しました

県内3地区で、現任の頭取・グリーンキーパーの皆さんの研修会を行いました。総勢450人強のたくさんの方に参加いただきました。

- ・6月23日(金) クロスランドおやべ
講師 職藝学院 教授 渡邊美保子 先生
研修内容 エコロジカルガーデニング 自然をお手本にした花の庭づくり
- ・7月4日(火) 黒部市国際文化センターコラーレ
講師 日本花の会 花のまちづくりアドバイザー 清水恵子 先生
研修内容 花と緑のふるさとライフ～感動は作り出すもの～
- ・7月10日(月) 富山市民プラザ
講師 NPO法人日本園芸療法研修会 代表理事 澤田みどり 先生
研修内容 園芸療法～植物や園芸作業を活用して、日々の暮らしを豊かに～



ステップアップ研修 8月2日

「第3回の新任頭取・グリーンキーパー研修」を実施しました

- ・日本花の会・花と緑の研究所の和田博幸先生をお迎えし、8月23日(水)に新任研修を実施しました。
- ・「みんなで進める花のまちづくり」をテーマに、全国の花のまちづくりのすばらしい事例を紹介いただきながら、「花の魅力、花の社会性」などの解説、花のまちづくりには「地域らしさ、人と人とのつながり、感性を高めて」など、大事なKeyWordをやさしく教えていただきました。

 お知らせコーナー（9月～12月の主なイベントです）

 富山県花と緑の祭典2017「第45回花と緑の大会」を開催します

- 1 日 時 平成29年10月18日（水） 13：30～16：00
2 場 所 富山県民会館ホール
3 内 容 （1）花と緑の功労者表彰
（2）富山県花と緑のコンクール入賞者表彰
（3）花と緑の講演会

演題 「歴史に見るこの国の園芸とこれからの花のまちづくり～花あふれる国を富山から～」

講師 千葉大学大学院園芸学研究科客員教授・園芸文化研究家 賀来宏和 氏

○同時開催 平成29年度花と緑のコンクール入賞作品・写真展示 注）参集は頭取・グリーンキーパーをお願いしており、一般の方の参加は叶いません。

 富山県中央植物園

○ボタニックガーデンクラブ

「多肉植物で楽しい寄せ植えづくり」 10月21日（土）・22日（日） 13：30～15：30

・定員各日20人（参加費1,000円）

「クリスマスリースづくり」 12月2日（土）・3日（日）

・午前、午後の2回開催します（10：00～11：00、13：00～14：00）。定員各回50人（参加費500円）当日受付

○第11回秋のラン展 11月17日（金）～11月19日（日）

・栽培講習会「ランの栽培と管理」 11月18日（土）・19日（日） 13：30～15：00

（詳細はHPをご覧ください。申し込み・お問い合わせは富山県中央植物園へお願いします。）

 県民公園頼成の森

○キノコ狩りと観察会 10月15日（日） 10：00～13：00

・キノコ狩り・キノコ鑑定、きのこ鍋賞味 定員50名、参加費300円

○頼成の森“感謝の集い” 11月12日（日） 9：30～14：00

・林内散策、オカリナ演奏、抽選会、きのこ鍋など

・リースづくり教室：定員30名、参加費500円 ・干支づくり教室：定員40名、参加費200円

○ミニ門松づくり教室 12月23日（土・祝） 9：30～12：00

・竹や松などで、正月用ミニ門松づくり 定員30名、参加費500円

（詳細はHPをご覧ください。申し込み・お問い合わせは県民公園 頼成の森へお願いします。）



中央植物園 ゲッカビジン鑑賞会にて 7月1日



編集発行 公益財団法人 花と緑の銀行

〒939-2713 富山市婦中町上轡田42
TEL 076-466-2425
FAX 076-465-5923
<http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園

〒939-2713 富山市婦中町上轡田42
TEL 076-466-4187
FAX 076-465-5923
<http://www.bgtym.org/>

花と緑の銀行だより 205号

発行日 平成29年9月
再生紙を使用しています。

県民公園頼成の森

〒939-1431 砺波市頼成156
TEL 0763-37-1540
FAX 0763-37-1450
<http://www.bgtym.org/ranjyounomori/>